

つるみ在宅ケアネットワーク 第21回公開勉強会 報告書

日時 令和7年11月15日(土) 14:00~15:30

場所 鶴見公会堂

14:00 開会の挨拶

総合司会 きむら記念クリニック

河合 裕子 さん



鶴見区医師会 理事長代理

佐藤 剛 さん



鶴見区役所 福祉保健センター長

岩田 慶隆 さん

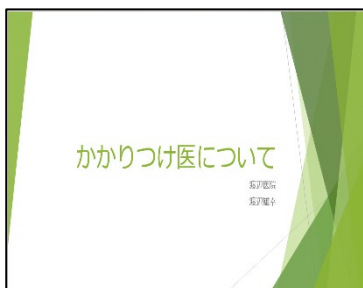


【市民向け公開講座】

14:07~14:22

「かかりつけ医について」

講師：渡辺医院 院長 渡辺 雄幸 さん



講演の内容

(1) 救急あんしんカードの紹介
救急車を呼んだ時に、救急隊員に渡して欲しい



(2) もしも手帳の使い方
もしもの時を話し合い、記録しておく
気持ちが変わる事もあるので、繰り返し行う



(3) 「かかりつけ医」について
「かかりつけ医」を持つ1番のメリットは、何でも相談できること
「かかりつけ医」は自分で選択できる、1人でなくてよい、何科でもよい

(4) 「かかりつけ医機能報告制度」について
R7年4月より施行された法律で、医療機関が都道府県にかかりつけ医機能を報告
地域医療と在宅支援の推進を図る

(5) かかりつけ医にかかる5つのポイント
メモをしておく、伝える努力をする
お互いに理解し、何でも相談できる環境を作る

14 : 23~15 : 05

「メイン講演」

人生はのぼり坂 くだり坂 まさか… ～ そんな時にかかりつけ医 ～

講師：カータンさん 人気主婦ブロガー

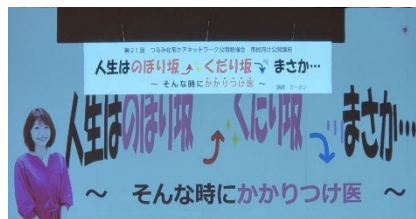
進行役：K美さん



講演の内容

(1) 自己紹介

2007年3月 ブログ開始（もうすぐ20周年）
次女の出産で、子育てのイライラや大変さを
発信したいと思ったのがきっかけ



(2) 親の介護エピソード

父の介護の始まり、突然全盲になった
母の認知症、お金の管理・ゴミの仕分けなどが難しくなった
「認知症」と認めたくないが、認めざるを得ない
→ ブログに掲載したところ、「救われた」「自分1人でない」と反響があり、
お互いに救われた

(3) 介護・医療制度について

母の介護負担が多いため、父の介護認定を受けた
医師・ケアマネジャー・ヘルパー・デイサービスなど、ワンチームで支えてくれる
色々な職種の方に相談できるしくみを知った

(4) かかりつけ医について

父のかかりつけ医、長いお付き合いの町のお医者さん
性格や体質も理解してくれている、2回/月往診してくれた

母のかかりつけ医

普段の療養生活のことから、救急のことまで相談できた

（例1）母は血圧高いが、甘いもの好き

「好きな物を食べて生きたい」という思いを受け入れてくれる

（例2）母が夜中に吐血して、相談して救急外来へのアドバイスをくれた

かかりつけ医は、家族の悩みも聞いてくれる存在

(5) カータン『インタビューノート』

親がしっかりしているうちに、話し合う・聞いておく
自分も子供に伝えておく

若いうちに聞くと、聞きやすい

「インタビューノート」という表現

→ 聞いてみようという気持ちになる、会話も盛り上がる（お金・墓など）



書籍の紹介

(6) つるみ在宅ケアネットワーク『連携ノート』

鶴見区在住の療養者に、主治医が配布しているノート
記入内容が決まっている良い



連携ノート



わになるノート



15:05～15:30

質疑応答

(質問1) 質問者：鶴見区女性

お母様の認知症を、どの段階で判断したのか？

(回答1)

ごまかして認めたくないが、明らかにおかしいと感じた
隣市の認知症の講演会を聞きに行った

「健診の再検査をしないといけない」と説明して、母をクリニックに連れて行ったが、
母は張り切ってしまい、検査結果は「問題なし」 → 結局、診断されなかった

(質問2) 質問者：鶴見区女性 ブログ読者

80代母が認知症、電話に執着し、美容院などに電話をかけて
しまう。よそ様への迷惑が心配、ご近所などの関わりをどうし
たらよいか？

(回答2)

母はひきこもりで、自分が認知症と知られたくないようだった
固定電話は止めた、詐欺が怖い

→ 言われた通りに「はいはい」と返事をし、牛乳配達やガス
コンロの契約をしていた。

夏のエアコンや水分補給、転倒なども心配だった

→ 施設に入所して心配なくなった



質疑応答の様子

(質問3) 質問者：女性

80代母、同じマンションで別部屋で生活、もの忘れ外来に通院

「今日は優しくしよう」→イライラ、きつく当たってしまう→後悔、の繰り返し
自分の気持ちをどうすれば優しくできるか？

(回答3)

逆の立場で言えば、母は「覚えてない」から大丈夫

親子なので毒を吐いてよい、深く考えすぎない

1人で抱え込まないで欲しい

15:30

閉会の挨拶

鶴見区医師会 副理事長 きむら記念クリニック 河合 裕子 さん

花束贈呈

鶴見区医師会 副理事長 恵愛内科クリニック 佐藤 剛 さん



参加者総数 273名

講師&進行：2名

一般：224名 医師：4名 薬剤師：1名 看護師：22名

ケアマネジャー：4名 歯科：1名 行政：5名

地域包括支援センター：2名 セラピスト：3名 事務：5名

つるみ在宅ケアネットワークでは呼称を「さん」で統一しています